

災害ボランティア 能登第3弾

前回に引き続き、日本財団「令和6年能登半島地震に関わる支援活動」の助成金を活用し、7月1日(月)~4日(木)3泊4日、寮生訓練生ら5名、スタッフ4名の計9名でボランティアへ行ってきました。全日程七尾市で活動したかったのですが、ボランティアの空きがなかった3日は珠洲市に申し込むも、事前連絡がないまま出発。現地で事情を説明し、七尾市の方が珠洲市の方に繋いでくださり無事、珠洲市での活動ができました。

- Q1:どんな気持ちで参加しましたか。
- Q2:被災した地域を見て何を感じましたか。
- Q3:被災された方の家に行き、作業や会話をする中で何を感じましたか。
- Q4:作業をする上で気をつけたことや大変だったことはありますか。
- Q5:最後に一言



<OG君>

- Q1:災害で困っている人を助けたい
- Q2:災害の影響がかなりあった地域に行ったのですが、家は完全に崩壊していてあらためて災害は恐ろしいと実感しました。
- Q3:ボランティア初日、同じグループに地元の方で何度もボランティアに参加されている方がおり、移動中に話をした。色々な場所からボランティアに参加してくれて本当に有難いと感謝され、助けを求めている人が減ってきて、ボランティアも終わるんだなと感じているという話をされていた。また自分がした作業は大変だなと思うこともあったが、被災してすぐの頃はもっと大変だったと思うと、災害は怖いなど思っていました。
- Q4:ガラスや陶器のかけらを仕分けしてゴミ袋に入れる作業。手袋をしていても少し危ないなど思いました。
- Q5:短い期間ではありましたが、少しでも力になれて良かったと思いました。

<IW君>

- Q1:少しでも被災者の助けになればという思いと、新しい事に挑戦してみたいという気持ちで参加しました。
- Q2:倒壊した家屋が数多くあったり、道路がデコボコになっているのを見て、災害による被害の大きさを実感しました。
- Q3:家一軒に対しての作業量が多くて大変だという思いと、普段当たり前のように使っている水や電気があまり使えなくなってしまうのは、とても不便な事だと改めて感じました。
- Q4:重い物を運ぶ際に、足元を確認しつつ慌てずにゆっくりと作業しました。最終日は重たい物が多かったのですが、運ぶのに時間がかかり大変でした。
- Q5:災害ボランティアに参加できたのは、とても良い経験になりました。災害が起こってしまうのはよくない事ですが、こういうことがあればまた参加できればなど思いました。

<FK君>

- Q1:もう一度ボランティアを体験したくて。
- Q2:秋田の水害ボランティアとは違い、震災による被害(家屋へのダメージなど)を実感した。
- Q3:震災から半年経っていたため、ボランティア自体は秋田の時より小規模だったので、正直センターの作業に近いものを感じた。廃棄物の処理等は年配の方には大変だだろうと思う。
- Q4:ケガ・事故をしないように気をつけた。
- Q5:体調不良になりました!